

役場の組織が新しくなりました

町では、これまで「第五次美浜町総合振興計画」及び「美浜創生総合戦略」に掲げてきた施策を推進してきました。このたび、夢と希望・地域愛あふれる「美し美浜」の実現に向け、4月1日に組織を改編しました。

※改編により組織名の変更があった課は赤字表記



▼観光戦略課(旧商工観光課)

●周遊滞在型観光の実現

2023年春の北陸新幹線敦賀開業を見据え、周遊滞在型観光の実現に向けた施策を推進していきます。



●健康楽膳拠点施設「こるば」の観光連携

今年度に予定している「こるば」のグランドオープンに伴い、三方五湖周辺の観光施策と連携した、施設の活用を検討していきます。



▼教育政策課

●不登校児童等への手厚い支援

不登校児童等や保護者にきめ細やかな支援を行うため、はあとびあ内にて教育支援センターを設置しました。

子どもの居場所づくりや教育機会の確保、相談の場を設ける等、個々の状況に応じた支援を行います。

▼福祉課

●幼少期からの食育推進

幼少期から、子どもたちの食への関心を醸成するため、管理栄養士を保育園に配置し、食育の推進体制強化を図ります。



▼土木建築課

●にぎわいの拠点づくり

スマート・コンパクトシティの実現に向け、にぎわい拠点整備室に専任の室長を配置し、地域住民が集うにぎわいの拠点づくりの推進体制強化を図ります。

▼エネルギー政策課

●情報発信体制の強化

町民の方への情報伝達手段である防災行政無線やケーブルテレビ(CATV)、音声告知放送に関するシステムを併せて管轄することにより、効率的・効果的な情報発信体制の強化を図ります。

▼まちづくり推進課(旧企画政策課)

●まちづくり推進体制の強化

地域と行政の協働を一層推進する等、まちづくりを着実に進めるための体制を強化するため、企画政策課の業務見直しを行い、効率化を図りました。

▼美浜創生戦略課

●「ボートの町美浜」の更なる推進

ボートの町美浜推進室に県から専属の派遣職員を室長として受け入れ、ボート競技の更なる強化と推進体制の充実を図ります。

●国体推進室の廃止

「福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会」が大きな成功を収め、役割を終えたことに伴い、国体推進室を廃止しました。

▼産業振興課(旧農林水産課・みはまブランド開拓課)

●農林水産業と商工業の連携による産業の活性化

農林水産業と商工業の連携により、地場産業の活性化や地場産品の販路拡大に向けた支援体制の強化を図ります。

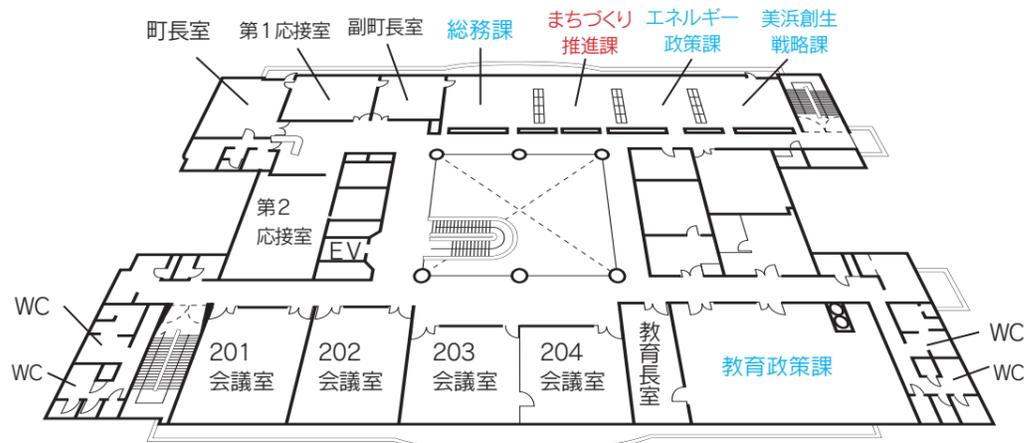


●みはまブランドの発展

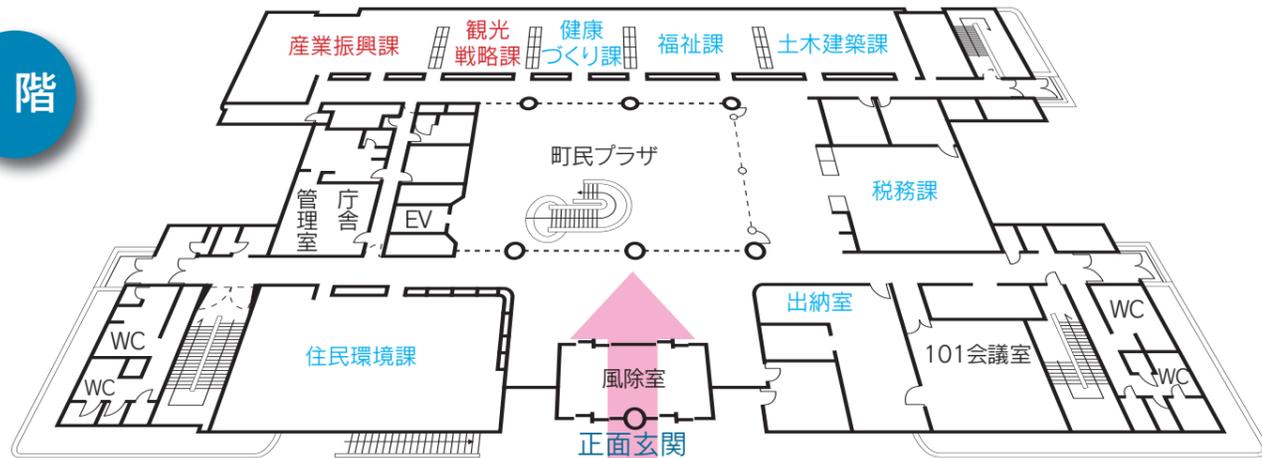
塩熟ふりや熟成魚等の商品化が進み、これまでの取り組みの成果が出たことから、みはまブランドが産業として発展するよう、みはまブランド開拓課を産業振興課内のみはまブランド推進室として再編しました。



2階



1階



連休中の医療施設について



連休中に診療を行っている医療機関は次のとおりです。なお、受診の際は、健康保険証と内服中の薬がある場合は内服薬または薬剤名が分かるものを必ず持参してください。

■連休中の医療機関情報

4月	日	休日の当番医	その他の病院		5月	日	休日の当番医	その他の病院	
			病院名	診療時間				病院名	診療時間
27日(土)			三方診療所	9:00～12:00	1日(水)		関根医院	とむらクリニック	9:00～12:30 16:30～19:00
			とむらクリニック	9:00～12:30			加藤医院	9:00～18:00	
			関根医院	9:00～13:00			とむらクリニック	9:00～12:30	
			加藤医院	9:00～12:00			関根医院	9:00～13:00	
28日(日)		さわい皮ふ科 9:00～17:00	-		2日(木)		加藤医院	浅妻内科	9:00～12:30 15:00～18:00
			浅妻内科	9:00～12:30			レイクヒルズ美方病院 (内科・耳鼻・泌尿器)	8:30～12:00 14:00～17:15	
29日(月)		三方診療所 9:00～17:00	-		3日(金)		浅妻内科	-	
			田辺整形外科	8:30～12:00			田辺整形	9:00～17:00	
30日(火)		とむら クリニック 9:00～17:00	関根医院	9:00～18:00	4日(土)		関根クリニック	-	
			加藤医院	9:00～18:00			東部診療所	9:00～17:00	
			田辺整形外科	8:30～12:00			-		
			レイクヒルズ美方病院 (内科・耳鼻・泌尿器)	8:30～12:00 14:00～17:15			-		

※上記以外の県内の休日当番医については、「医療情報ネット福井」ホームページ内の「在宅当番医照会」をご覧ください。

その他の公共施設について

■町内の主な公共施設の開館日

施設名	4月27日～5月6日の開館日	連絡先	施設名	4月27日～5月6日の開館日	連絡先
子育て支援センター	4月27日、5月1日、2日	32-0192	文化会館	なし	32-0707
はあとぴあ	4月27日、28日、30日 5月1日～5日	32-3111	小倉会館	なし	32-0600
ほほえみ	4月27日、29日、30日 5月1日～4日、6日	37-2294	総合運動公園	全日開館(※)	32-3200
あいぱる	4月30日～5月2日 (4月29日、5月3日、6日は生活介護のみ受け入れ)	32-0755	ゆうあいひろば	全日開館(※)	32-0776
北西郷公民館	4月27日、28日(※)	32-0317	西郷健康ひろば	全日開館(※)	32-1180
南西郷公民館	4月27日(※)	32-2654	体育センター	全日開館(※)	32-0127
山東公民館	なし	38-1001	ふれあい広場	全日開館	
耳公民館	全日開館(※)	32-0027	歴史文化館	全日開館(※)	32-0027
なびあす	全日開館(※)	32-1212	若狭国吉城歴史資料館	全日開館(※)	32-0050
図書館	全日開館(※)	32-0083	きいばす	全日開館(※)	39-1116

(※)5月7日(火)については休館となります。

■連休中の主なイベント

日時	イベント名	会場
5月3日(金)、4日(土) 午前10時～午後4時	きいばすフェスタ・わんぱくフェア	きいばす、丹生特設会場
5月5日(日) 午前8時30分～(予定)	国吉城まつり(主催:佐柿区)	若狭国吉城歴史資料館
4月27日(土)～6月30日(日)	開館10周年企画展「国吉城址史跡調査20年の軌跡①」	若狭国吉城歴史資料館

大型連休中における公共施設等の利用について

4月27日から5月6日は、祝日や休日が重なり、10連休になります。

連休中の届出や医療、ごみの収集等については、次のとおりです。



町役場の窓口及び届出について

大型連休期間中、町役場のすべての窓口は休みとなり、届出や証明書の発行ができなくなります。ただし、死亡届や出生届、婚姻届等については受け付けます。なお、連休前や連休明けは窓口が集中し、通常よりお待ちいただく時間が長くなること予想されますので、あらかじめご了承ください。



■連休中に受け付けする届出の種類 (受付時間 午前8時30分～午後10時)

	届出の期間等	必要書類等
死亡届	死亡を知った日から7日以内	死亡診断書、届出人(直近の親族)の印鑑、町営火葬場使用料(利用者のみ:町内者7,000円・町外者10,500円)
出生届	生まれた日から14日以内	出生証明書、印鑑 ※母子手帳への証明は平日のみとなります
婚姻届・離婚届	届出をした日から法律上の効力が発生します	当事者2人の印鑑、本人確認書類(運転免許証等)、戸籍謄抄本(届け出地が本籍ではない場合)

※児童手当の手続きはお早めに!

児童手当の支給を受ける場合、出生や転入等の事由が発生した日の翌日から15日以内(15日目が土、日、祝日の場合は次の平日)に認定請求手続きを行う必要があります。したがって、4月12日～21日の期間に出生や転入があった場合は、5月分の児童手当の請求期限が連休明けの5月7日になります。請求期限を過ぎると5月分からの受給ができなくなりますので、早めの手続きをお願いします。

ごみの収集、エコクル美方へのごみの持ち込み

ごみの収集、エコクル美方への持ち込みについては次のとおりです。なお、テレビや洗濯機、パソコン等、エコクル美方で受け入れできないごみについては、それぞれの販売店等にお問い合わせください。

■連休中のごみ収集・持ち込み

4月	日	ごみ収集		エコクル美方への持ち込み	
		可燃・生ごみ	不燃・資源ごみ	可燃・生ごみ	不燃・資源ごみ
4月	27日(土)	×		×	×
	28日(日)	×		8:30～12:00	8:30～12:00
	29日(月)			×	×
5月	30日(火)			8:30～16:00	×
	1日(水)		通常どおり収集	×	×
	2日(木)			8:30～16:00	×
	3日(金)			×	×
5月	4日(土)	×		×	×
	5日(日)	×		×	×
	6日(月)		通常どおり収集	8:30～16:00	×

※7日(火)からは、通常どおり収集・受け入れを行います。

■平時のエコクル美方への持ち込み可能時間

平日 午前8時30分～午後4時(すべてのごみ)

第2、4日曜日 午前8時30分～正午(すべてのごみ)

祝日 午前8時30分～午後4時(可燃と生ごみのみ)

美浜の暮らしを通じて人同士のつながりを感じたい
 緑のふるさと協力隊に永岡美沙さんが着任

■お問い合わせ先
 ・町産業振興課
 みはまブランド推進室(担当・川尻)
 ☎32-6714

～隊員紹介～



ながおか みさ
 永岡 美沙 さん
 広島県出身
 27 歳
 子どもが大好き
 水泳が得意

地域の方と交流を深めていく中で、自分が持っている力を地域のために役立てたいと思っています。

▼美浜の皆さんにひと言お願いします

「まずはやってみる」をモットーに、何でも体験してみたいので、私を見かけたらどんでん声をかけてください。1年間よろしくをお願いします。

▼隊員になろうと思ったきっかけはなんですか？

社会人として働く中で、人と人とのつながりの希薄さを感じ、田舎暮らしをしたいと思っていたタイミングで、SNSで偶然募集を見かけたことがきっかけです。美浜町は、海・山・川がそろっていて景観が良いことに加え、日本海に面している海産物が魅力的だったので希望しました。

▼活動に対する意気込みを教えてください

水稲や園芸等の農業に興味があるほか、子どもと触れ合うことも好きなので、そのような体験もしたいです。

4 月10日に「緑のふるさと協力隊」の委嘱状交付式が行われ、愛知県出身の永岡美沙さんに委嘱状が手渡されました。緑のふるさと協力隊は、NPO法人地球緑化センターが、農山村の現状や暮らしに関心を持つ若者を、地域に1年間派遣するプログラムです。本町では、昨年度に続き2人目の受け入れとなり、来年3月までの1年間、農業や畜



↑委嘱状の交付を受けた永岡さん(左から2番目)

産業、観光、福祉等さまざまな分野の活動を通して地域住民と交流を深めるとともに、地域おこしのお手伝いをしていただく予定です。

伝統文化を次世代へ
 橋本裕之氏に美浜町伝統文化継承アドバイザーを委嘱

■お問い合わせ先
 ・町歴史文化館
 (担当・石丸)
 ☎32-0027



↑美浜町伝統文化継承アドバイザーを委嘱された橋本氏(左)

4 月8日に「美浜町伝統文化継承アドバイザー」の委嘱式が行われました。美浜町伝統文化継承アドバイザーは、町の伝統文化を広く紹介し、次世代に継承していくために設置されたもので、今回、教育委員会から橋本裕之氏に委嘱状が交付されました。橋本氏は、長年、美浜町の祭礼に関する著書や論文を手掛けているほか、美浜町誌第4巻「舞う・踊る」への執筆や美浜中央小学校での祭礼学習等、町の伝統文化継承活動に

大きく貢献されています。委嘱状の交付を受けた橋本氏は「子どもの頃から郷土の伝統文化について学ぶことで、地元への愛着をより深めてほしい。また、地域づくりとしての伝統文化の力を、子どもだけでなく大人の方にも伝えたい」と話されていました。今後は、美浜中央小学校のみでなく美浜西小学校・美浜東小学校においても、地域の年中行事等について学ぶ機会を設けていく予定です。

日本国際観光映像祭のCM部門で
 美浜町のPVが日本部門コマーシャル最優秀賞を受賞

■お問い合わせ先
 ・町観光戦略課
 (担当・武田定幸)
 ☎32-6705



↑最優秀賞の表彰を受ける田中監督(左)

3 月13日と14日に、第1回日本国際観光映像祭が大阪市で開催され、町がインバウンド観光客の誘致に向け制作したプロモーションビデオ(PV)「あなたとわたしの美浜陽光の旅」が日本部門コマーシャル最優秀賞を受賞しました。映像祭は、訪日外国人の増加等を背景に、映像を使った観光プロモーションのあり方や未来像を考えることを目的で開催されたもので、国内外から224作品(世界部門

142、日本部門82)が寄せられ、自然や文化等のカテゴリに分けて審査されました。町が出展したPVは、CMカテゴリにノミネートされ、映像にリアリティーがあることや短い時間に内容がまとまっていること等が評価され、最優秀賞に選ばれました。PVの撮影・制作に携わった田中光敏監督は「このPVを見て、より多くの人に美浜の魅力が伝わってほしい」と話していました。

万が一の原子力災害に備えて
 主要地方道佐田竹波敦賀線 佐田～菅浜間が開通

■お問い合わせ先
 ・町土木建築課
 (担当・野原)
 ☎32-6707

3 月17日に、主要地方道佐田竹波敦賀線の一部区間である佐田～菅浜間の開通式が農業構造改善センター(菅浜)で行われました。主要地方道佐田竹波敦賀線は、原子力災害制圧道路として、佐田から竹波にかけて平成24年から県が整備しているものです。今回開通したのは、佐田～菅浜間の約2.1kmで、菅浜～竹波間の約3kmについては、平成31年度中に開通する予定です。菅浜、竹波、丹生は、美浜発電所からおおむね5km圏内に位置し、発電所で事故が発生し緊急事態となった場合に、放射性物質が放出される前の段階から予防的に避難等を開始する区域(PAZ)内にあります。佐田～竹波間にはほぼ直線のバイパスを整備することにより、災害時の迅速な避難や災害制圧が期待されます。



↑テープカットを行う出席者



↑原子力災害制圧道路(佐田～竹波)

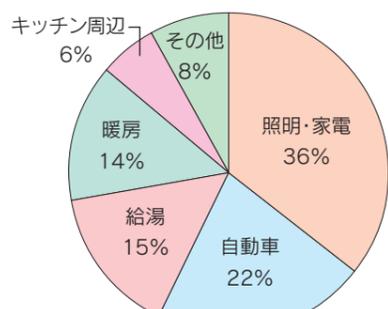
戸嶋町長は「今回の開通で敦賀半島全体の防災機能が強化され、地域産業、周遊観光等の活性化につながることを期待している」と述べました。

運転時の4つの走行パターン

いよいよ始まる大型連休。旅行の移動手段には電車やバスだけでなく自家用車もありますが、自動車は、家庭からの用途別二酸化炭素排出量において、照明・家電製品に次いで大きな割合を占めています。

今月号からは自動車が排出する二酸化炭素に焦点を当て、少しの心掛けで省エネに貢献できる「エコドライブ」を紹介します。

家庭からの用途別二酸化炭素排出割合



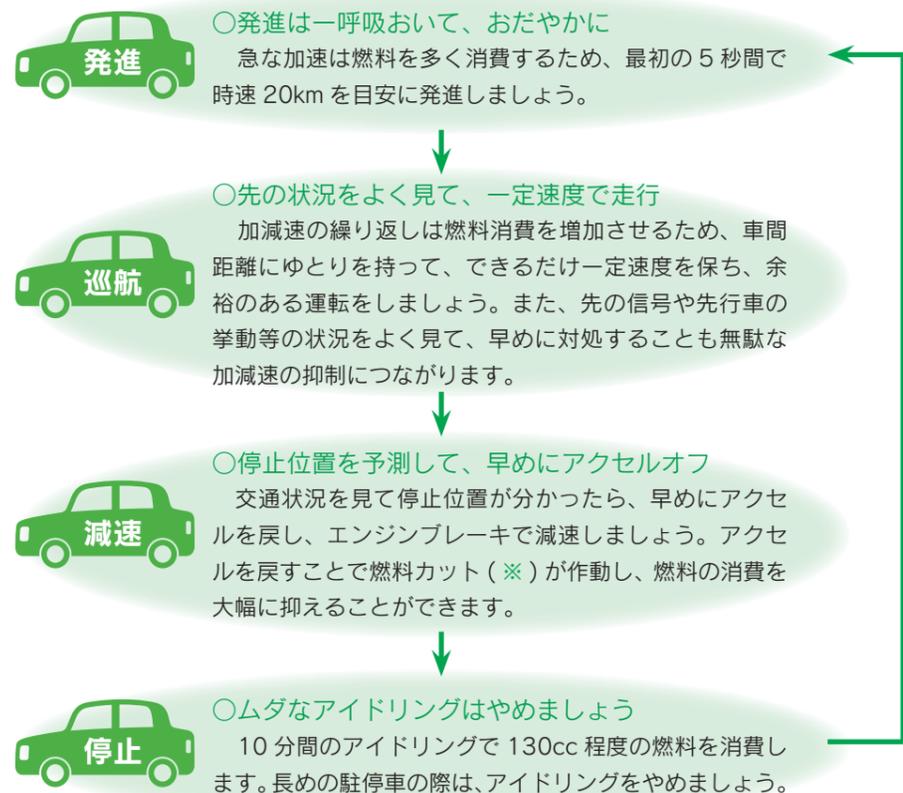
出典)温室効果ガスインベントリオフィス
全国地球温暖化防止活動推進センターHPより

自動車業界では、ハイブリッドカーや電気自動車、水素自動車等の低燃費で環境にやさしい車（エコカー）の開発が進んでおり、国内ではハイブリッドカーの保有台数が750万台を超えるほどに普及しています。

しかし、エコカーは全体的に価格が高いため、環境問題には関心があるものの購入には踏み切れないという人が多いのが現状です。

そのような人におすすめしたいのがエコドライブです。エコドライブとは、燃費を向上させるために工夫することです。少し意識を変えるだけで二酸化炭素の排出量を抑えられ、エコに貢献できます。エコドライブを行う事で、一般的に20%近く燃費が向上するといわれています。

4つの走行パターンとエコドライブの例



※一定以上のエンジン回転でアクセルから足を離すと、燃料を全く使わない状態になる機能。

美浜の環境

シリーズ115 environment

少しの意識から実践できる「エコドライブ」

自動車業界では、ハイブリッドカーや電気自動車、水素自動車等の低燃費で環境にやさしい車（エコカー）の開発が進んでおり、国内ではハイブリッドカーの保有台数が750万台を超えるほどに普及しています。

運転時のエコドライブ

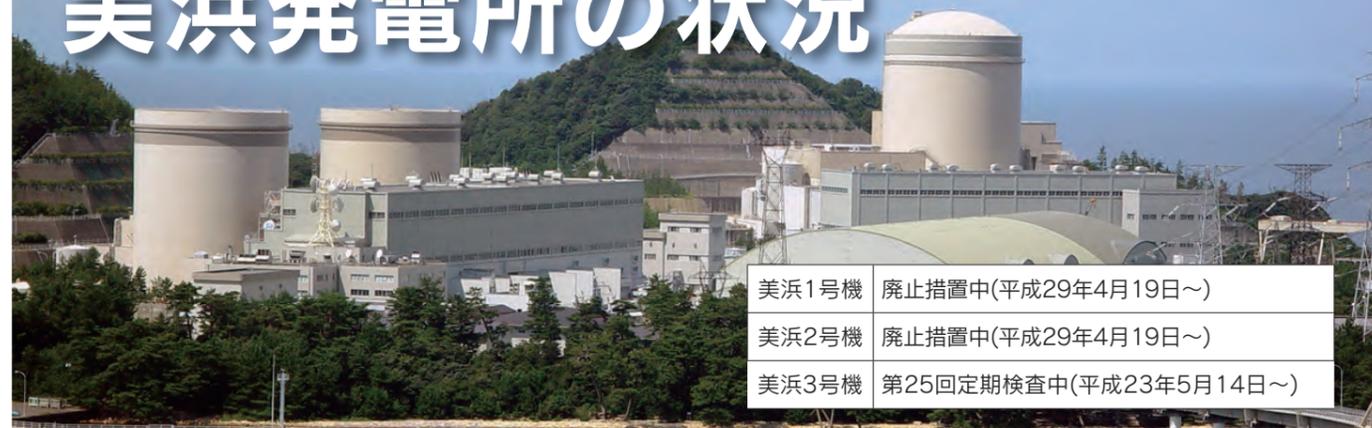
車は、発進、巡航、減速、停止の4パターンを繰り返しながら走行します。各パターンで効果的なエコドライブを意識することが、燃費向上につながります。

今回紹介したエコドライブは、どれも少し意識するだけでできるので、ぜひ実践してみてください。

来月号では、運転時以外に工夫するポイントを紹介します。

※お問い合わせ先
町住民環境課(担当・藤村)
☎32-6703

美浜発電所の状況



美浜1号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜2号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜3号機	第25回定期検査中(平成23年5月14日～)

▷4月1日に就任された
原子力規制委員会 原子力規制庁
美浜原子力規制事務所
副所長 **渋谷 徹** 氏



美浜原子力規制事務所には平成25年7月に原子力保安検査官として赴任し、このたび、副所長を拝命しました渋谷徹と申します。

当事務所では、引き続き原子力発電所の保安業務を担当いたします。

さて、当事務所では、安全上の影響等を考慮した検査、独立性の高い検査等を基本方針とした、新たな検査制度を2020年度から円滑に開始するため、試運用を実施しています。

原子力発電所の安全を確保するため、より一層、一生懸命取り組む所存です。今後ともよろしくお願ひします。

▷4月1日に就任された
原子力規制委員会 原子力規制庁
美浜原子力規制事務所
原子力防災専門官 **岡田 慶一** 氏



美浜原子力規制事務所原子力防災専門官の岡田慶一と申します。

これまで福井県警察官として勤務し、敦賀警察署を皮切りに、嶺南で約7年勤務しており、嶺南地域には縁を感じております。

私は日頃、原子力防災専門官として自治体等と連携しつつ、事業者に対する指導等を行うことにより、原子力防災体制の整備・維持を図るとともに、緊急時には原子力防災の要として、住民の皆様の安全確保と事態の収拾を図るため、関係者等との連絡調整及び初動指示を行います。

しっかりと責務を果たしたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。

美浜町原子力防災センター及び美浜原子力規制事務所について

美浜町佐田(毛ノ鼻)にある「美浜原子力防災センター」は、万が一、原子力災害が起こったときに、国、自治体、事業者、専門家等の関係者が集まって、事故拡大防止のための応急対策や情報収集、住民の安全確保のための避難等、緊急対策を講じるための拠点となる原子力防災に



↑美浜原子力防災センター

おける「緊急事態応急対策等拠点施設」として定められ、平常時は、原子力防災訓練や防災業務研修にも使われています。

原子力施設の近くにありますが、敷地(サイト)の外に設置されているため、「オフサイトセンター」とも呼ばれます。

また、同センターを運営する「美浜原子力規制事務所」は、関西電力(株)美浜発電所に関する保安検査、防災業務等を行う国(原子力規制庁)の事務所です。

事務所には、所長、副所長のほか、防災専門官等の職員が常駐し、発電所の検査や工事の立ち会い、



↑原子力防災訓練

原子力防災体制の整備、原子力防災センターの管理等の業務を行っています。